

## 1. 実施機関

東京理科大学

## 2. 企画名

分野融合・対話型学習体験を通じた国際レベルの理数力養成

## 3. 総合評価コメント

受講生の一次選抜・募集では、教育委員会との連携に加え、OB・OG 組織や重点的な広報対象とした高校への訪問などの工夫により着実に受講生を集めていた点が評価できる。また、学内では分野の異なる教員や研究室の連携を進めるとともに、学外においても関東の教育委員会を中心に、当初の計画からより広く連携を構築した点も優れている。さらに、外国語論文発表等では当初の目標に対して未達成の部分があるものの、分野融合型の学習を重視した教育プログラムを丁寧に展開し、受講生の研究のアプローチにおいて異分野を関連づけた工夫が見られるなど、取組が実際に受講生の研究活動へ結びついている点は評価できる。一方、企画のホームページ、GSC 通信等を通じた広報は行われていたものの、より積極的に教育プログラムの社会全体への普及・展開の取組を行う余地があった。

今後、全学的な実施体制の構築と自立的な継続、積極的な情報発信等による企画の成果・教育プログラムの社会への普及・展開、および本企画での受講生評価の結果や追跡調査等によるプログラムの分析を踏まえた、発展的な展開を期待する。